

にソバ・菜種も戦略作物として位置付けられています。市としては、生産者の選択肢の一つとして作付けの推進を支援していきたいと考えます。

菜種の推進はどうか

問 菜種は国内生産量1千トに対して、輸入量は230万トである。食料自給率向上の観点からも推進してはどうか。

市長 戸別所得補償制度の目的の中には食料自給率の向上もあり、生産者には、申請手続き等の支援をしていきたいと考えます。

問 海外では遺伝子組み換え作物が一般的であるが、我が国では認めていない。食の安心・安全の面からも進めてはどうか。

市長 国産物は遺伝子組み換えの心配はないわけで、作付けが拡大されれば非常にありがたいと思います。

問 菜の花は景観形成作物として集密効果もあり、地域活性化につながり経済効果も生まれるのでは。

市長 相当大規模で栽培されているところには集密効果もあり、地域活性化につ

ながっていくということですが、意欲のある方については、市として支援していきたいと思えます。



一面に広がる菜の花畑（早股字小林地区）

朝日山公園整備計画



布田 恵美

問 平成22年5月17日、市民と学識経験者で構成された検討委員会から朝日山公園整備構想検討報告書が提出された。その中にある市民サポーター活用の提案を、どのように考えているのか。

建設部長 平成24年2月1日に朝日山公園サポーター制度が発足したので、これらの皆さまの提言・要望については、できる限り支援をし、協働で進めたいと考えます。

遊具設置はどうなる

問 今後の遊具設置について、どのようなになっているのか。

建設部長 遊具は昭和54年度に設置して大変損傷も激しく、部品調達も困難です。現在は安全確保の面から、危険なものは撤去していく考えで進めています。

問 従来の遊具に変えて、健康増進器具等の設置を進めてはどうか。

建設部長 朝日山公園サポーターの皆さんの意見を伺いながら整備計画を立てる予定です。



使用禁止の朝日山公園の遊具

問 遊具設置の具体的な検討時期はいつか。

市長 24年度中に撤去し、サポーターの意見を取りまとめ、25年度中に整備できればと考えます。

問 整備計画進捗を立て札などで知らせることを提案するが、どうか。

建設部長 改修工事の際には、告知パネルの設置を検討します。

市独自支援策



須藤 功

問 利子補給は、土地を買った人の場合だけなのか。それとも、そこに家を建てた場合も利子補給を受けられるのか。

建設部長 促進区域内から個別移転した方です。促進区域外で津波被害に遭われて住居を取り壊して現地再建する方は、建物だけの利子補給です。

来年度以降の考えは

問 独自支援を来年度以降も予算化する考えはあるか。

建設部長 借地に対する補助については27年度まで。土地を購入した方の固定資産税相当額の補助についても27年度まで。移転促進区域以外で自宅現地再建された方の利子補給については25年度までの計画です。

問 今回の財源は寄附金と県の復興基金からと聞かすが、来年度以降はどのように考えているか。

総務部長 県からの交付金及び寄附金で、積み立てている基金の原資残高が9億5千万円ほどあります。その中の一部を今回の独自支援策に充てる考えです。

問 集団移転区域以外で現地再建をせず他に行く方には支援策がない。この辺は検討の余地があるのではな

市長 十分検討し、やれるものから進めていきたいと思えます。